

宮城県多賀城市出身で、サッカー・J2のガイナーレ鳥取のMF奥山泰裕選手(25)が、東日本大震災で被災した東北地方のサッカーチームを支援しようとして、「東北人魂 鳥取プロジェクト」を始めた。オリジナルTシャツを販売し、売上金の一部を奥山選手が中学、高校時代に所属した塩釜FC(宮城県塩釜市)などの被災地のチームなどに寄付するという。

(進元(しょうげん) 牙香(がかう))

奥山選手は、J1・鹿島アントラーズの小笠原満男選手が5月に発足させた、東北出身のJリーガーが被災地を支援する「東北人魂を持つJ選手の会」のメンバー。福島県いわき市出身でJ1・サンフレッチェ広島の高萩洋次郎選手らが、7月から広島県内でTシャツを製作し、販売して被災者支援に取り組んでいることを知り、運営スタッフら4人に呼びかけ、同様の支援活動を鳥取でも行うこと

宮城出身 ガイナ奥山選手

Tシャツ販売 東北支援



東日本大震災の被災地を支援するために製作したオリジナルTシャツをPRする奥山選手(鳥取市のパレットとっとりで)

にした。Tシャツは、県デザイン協会の植木誠会長(53)が、「東北に笑顔を届けた」という奥山選手の思いに共感し、デザインを引き受けた。胸の部分には奥山選手の背番号「25」と「e g a o (笑顔)」をアレンジしたデザインがあり、ガイナーレ鳥取のチームカラーの緑色と青空をイメージさせる水色で描かれている。胸の部分には奥山選手の背番号「25」と「e g a o (笑顔)」をアレンジしたデザインがあり、ガイナーレ鳥取のチームカラーの緑色と青空をイメージさせる水色で描かれている。胸の部分には奥山選手の背番号「25」と「e g a o (笑顔)」をアレンジしたデザインがあり、ガイナーレ鳥取のチームカラーの緑色と青空をイメージさせる水色で描かれている。

背番号など
アレンジ
サッカーチームへ寄付

試合会場やインターネット(<http://www.rakuten.ne.jp/gold/neshoo2/>)でも購入できる。12月末まで販売し、1000枚の売り上げを目指す。

奥山選手は「Tシャツはオールシーズンで着ることができ、どんな時でも身につけられる。被災地を忘れないという意味も込められおり、ぜひTシャツを着て応援に来てほしい」と協力を呼びかけている。

問い合わせは、平日の午後1～6時に同プロジェクト実行委員会(082・241・1141)へ。